

社会教育演習（班別）の概要

テーマ「生涯学習での学びとデジタルストーリーテリング」

担当者 須曾野 仁志

内容及び進め方

現在は「いつでもどこでも誰でもが自らの意志によって自由に学べる時代」と言えます。この生涯学習を可能としたのは、パソコン、インターネット、携帯タブレット(iPad等)、スマートフォンなど、ICT(情報通信技術)である。自動車や飛行機が私たちの移動能力を拡大したように、ICTは私たちの知的活動の拡大手段となり、生涯学習の機会や学習成果の向上に大きく寄与するものです。

本演習では、新しいICT機器や従来からの道具を使いながら、どのように生涯学習を進めていくかを考え、参加メンバーで共有し合います。また、同時に、生涯学習にちなんだテーマ(例えば「私の夢」「生涯こんなことを学び続けたい」「私の近くにある生涯学習」)で、デジカメ画像、絵、古い写真などを、自分自身のナレーションや音楽でつなぎ、2～3分のデジタル紙芝居を制作します。

これは、デジタルストーリーテリング(Digital Storytelling)と言いますが、欧米では、画像や絵を使いながら数分のビデオ作品を作る人が増えています。我が国ではまだあまりよく知られていない手法ですが、デジタルストーリーテリングでは、Windowsでフリーに使える「Windowsムービーメーカー」(予定)を使用します。講師(須曾野)が担当してきた大学授業では2006年から学生が作品制作をしています。パソコンがあまり得意でない学生もユニークで個性的な作品を作っています。デジタルストーリーテリングは、社会教育・生涯学習の場でも、

- ・自分の人生をふり返ってライフストーリーを作る。
- ・旅に出かけた思い出を形にする。
- ・ファミリーの思い出(子育て、子どもの成長等)を語っていく。
- ・公民館活動での学びの成果を発信する

などで作品が作れます。

この演習は、コンピュータ初心者の方も気軽に参加できます。デジタルストーリーテリングの詳細は、

<http://ravel.edu.mie-u.ac.jp/~dst/>

または、「デジタルストーリーテリング」と検索下さい。